

八王子市議会レポート

No.74 2016年10月25日

つくる、つくろう通信

陣内やすこ 八王子市議会議員・無所属市民派
厚生委員会所属

北野台在住



編集／発行：市民自治の会（陣内やすこ）

〒192-0913 八王子市北野台4-16-2

TEL 042-636-8631 FAX 042-636-8640

4期目 スタート！

E-mail jinnaiya@mbk.nifty.com URL <http://jinnai.ne.jp/>

八王子の市歌って、ご存じでしたか？

作詞 北原白秋 作曲 山田耕筰

一、黎明 譽高く 桑の都 風は光れり
八王子 旺んなり 機業
新興の意気に起つべし
八王子（八王子） 古るき我が土
奮（いよよ） 多摩のますらを

二、水明 雲と碧く 桑の都 人は恵まる
八王子 豊かなり 氣運
神龍の飛躍 故あり
八王子（八王子） 古るき我が土
奮（いよよ） 多摩のますらを

三、清明 内つ国と 桑の都 山は横たふ
八王子 仰ぐべし 御陵
関東の一の萩原
八王子（八王子） 古るき我が土
奮（いよよ） 多摩のますらを



第2回定例議会の一般質問で、ある議員から、「市歌を学校で歌ってはどうか？」という質問が出て、教育委員会指導部長が「郷土愛を育むためにも、学校等で歌うことを推奨していきたい」との答弁があったことから、いくつかの学校で、実際に市歌を練習したり、校内放送で流したりといった取り組みが始まっているとのこと。これを受けて、私は、第3回定例議会の一般質問で、男女平等を進める市の姿勢からいって、問題があると、指摘しました。

- 問題点：
- 1) この時代、機織り作業を実際に担っていたのは、多くの女性たちしかし、そのような場面が歌詞にでてきていない
 - 2) その反面、「多摩の益荒男（ますらを）」を、1番から3番までの最後に強調することで、男性だけをたたえる歌になっている。
 - 4) 児童生徒の男女比は半々。学校現場でこの歌を歌わされる時、どんな気持ちで女子児童生徒がこの歌を受け止めるのか問題。教育的配慮に欠けている。
 - 5) この時代、女性には参政権もなく、家制度のなかで、無権利状態だった。歌を歌うことで、それらを良しとすることにもなりかねない。
 - 6) 2008年から、八王子の女性団体、八王子手をつなぐ女性の会から、この市歌の問題点を指摘し変更するように、という要請が行われており、100周年のころまでに検討するという回答になっていたが、そのような検討の形跡はない。

意見書提出1 全会派一致で採択

■政治分野への男女共同参画を推進するための法整備を求める意見書

今年は女性参政権行使から70年の節目の年である。しかし、わが国の女性議員の割合は、2016年衆議院で、9.5%、参議院では20.7%である。

⇒これって、世界的に見て、193か国中、157位という残念な数字です。

(中略)

わが国の地方議会においても女性議員御割合は、12.1%に過ぎず、女性が一人もいない「女性ゼロ議会」は、全自治体の20.1%にもぼる。

⇒八王子市議会の場合、40人中女性議員10人。25%です。

⇒一番女性議員比率が高いところは、清瀬市で、45%。大磯町では、50%以上となっています。

女性議員が増えると、重点施策が変わる、生活に密着した課題に向けての取り組みが多くなる、など、指摘されています。

ぜひ、今国会での成立を促していきましょう。

*10月7日院内集会の様子(写真右上)



意見書提出2 不採択

■8,000Bq/kg以下除去土壌の再生利用方針の再検討を国に求める意見書

東京電力福島第1原発事故から、5年がたとうとしています。除去土壌を再生利用する方針を環境省がまとめたのですが、とんでもない高濃度セシウム残留値です。国の基準は、100Bq/kgです。なんと、80倍。どうなっているの！日本中に放射能汚染土をばらまくようなものです。自民、公明、市民・民進の反対で、採択されませんでした。許せない！

2015年度決算認定 審査経過 非認定としました。

2015年度って、どんな年だったでしょうか。八王子市は、4月から中核市に移行しました。1000以上の事業が東京都から移管されてのスタートです。一番大きなことは、開発権限が市に降りてきたことです。そして、川町のスポーツパーク計画が進もうとしています。市は、みどりの保全を進める当事者であると同時に、開発権限をも持つわけで、この使い分けが問題です。川口土地区画整理事業として、天合峰の開発も始まろうとしています。いま、必要なのは、目先の利益ではなく、100年先の子どもたちに何を残すのか、といった、大きな価値観の転換にのっとりた施策決定です。そのためにも、借金は極力減らしていかなければならないし、教育文化の費用を惜しんではなりません。また、市民力に期待しながらも、図書館や市民センターの利用、NPOサポートがなかなか進みません。一方で、急速に貧困格差が広がってきています。消費税が8%になったというのに、社会保障関連費用は貧弱で、利用者負担が増大しています。福祉の為なら、ということで、消費税率にも一定程度の理解を示してきた市民からも、不満の声が上がっています。地方自治が目指すのは住民福祉の向上、これが徹底されていない2015年度決算を非認定としました。2017年度予算編成作業が進んでいます。

陣内やすこの議会報告会：第3回定例議会が終わったことから、議会報告会を開きます。こんなことが知りたい、ここが変だよ、と、市制に関して、思うことをおしゃべりしませんか。お待ちしております。

2016年10月31日(月)10時~12時 北野市民センター8F 会議室

